

## 第40回定期総会 ハイブリッド形式で開催

2022年5月17日(火)、日漢協第40回定期総会が開催された。

今回は、会場とオンラインとの併用によるハイブリッドでの開催となった。昨年に続き懇親会等実施されず、総会のみ行われた。

当日は、会員会社62社中、出席が40社(会場15社、オンライン25社)、委任状提出が22社あり、予定されていた4件の議案すべてが承認された。尚、外部からはマスコミ7社の参加をいただいた。

また、役員については、今回は改選期ではないが、副会長2名が退任となり、あらたな副会長として、草柳徹哉氏(クラシエ薬品株式会社)、栃本大輔氏(株式会社栃本天海堂)が就任した。

尚、退任する株式会社ウチダ和漢薬の吉川英樹氏には、引き続き理事としてご尽力いただくこととなっている。

加藤会長の総会后挨拶においては、漢方の将来ビジョン2040実現のための第1期5か年アクションプランの2年目にあたり、引き続き漢方製剤等のエビデンス集積と有用性の確立に取り組む内容が盛り込まれた。また、昨今の製薬業界における品質不正等、法令違反事例に触れ、協会および会員会社が意識向上を図るとともに、協会としてコンプライアンス体制の強化のための活動を推進していく決意が打ち出された。

